

コロナ禍における外出自粛やリハビリの中止・頻度変更に伴う 困りごとの調査 アンケート結果の報告

調査目的

コロナ禍における外出自粛の影響や、外来診療・通園・通所等の制限より、リハビリテーションに通うことができない、また、頻度が少なくなってしまった事による困りごとについて、当事者・家族および関わる専門職に調査を行い、その困りごとに対する一助となるような情報発信を行うことを目的に調査を行った。

方法

対象：理学療法が対象となる運動機能障がいのある方、ご家族、
関わる理学療法士などの専門職

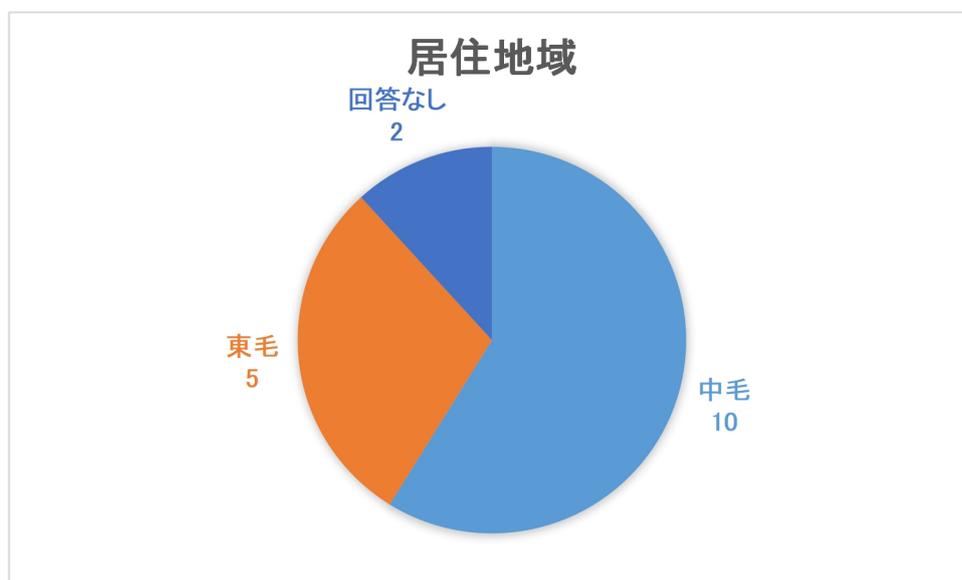
調査方法：Google フォームによるアンケート

実施期間：令和3年10月17日～12月25日

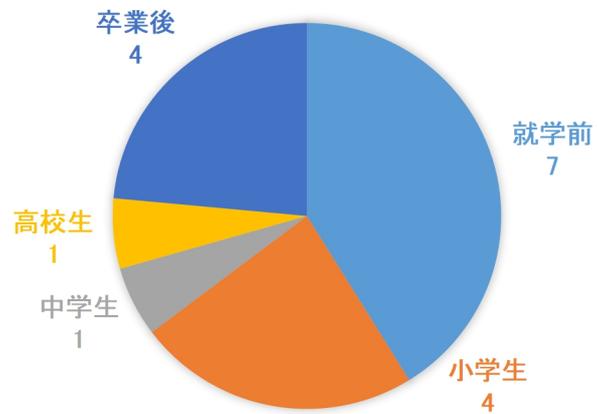
結果

回答数：36件(当事者・家族：17件、専門職：19件)

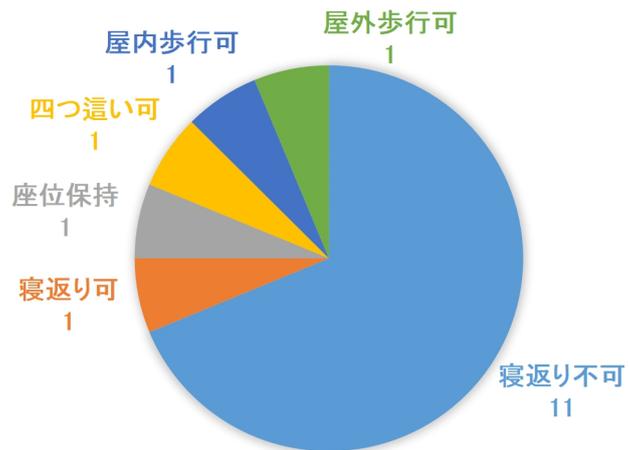
当事者・ご家族向け(回答数 17件)



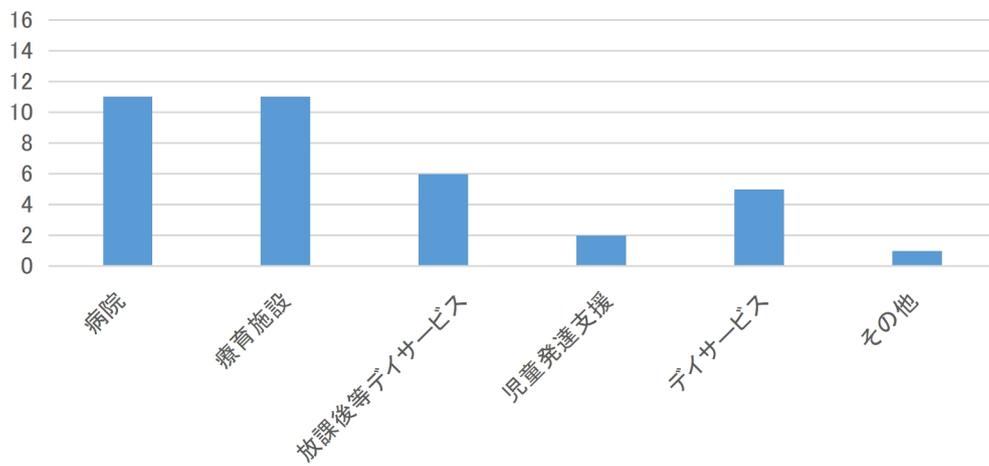
年代



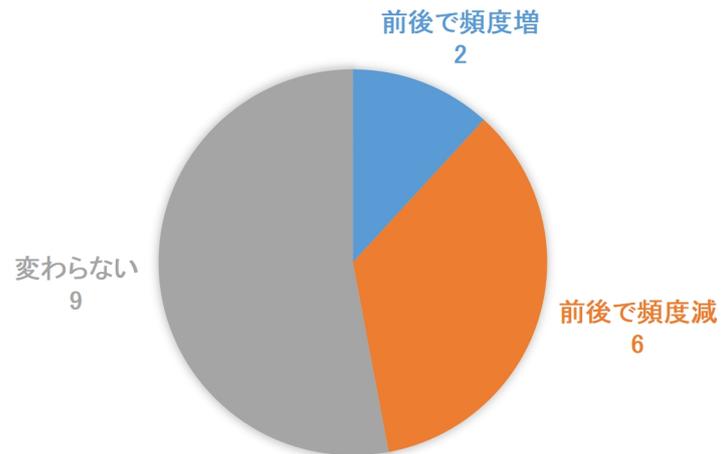
移動能力



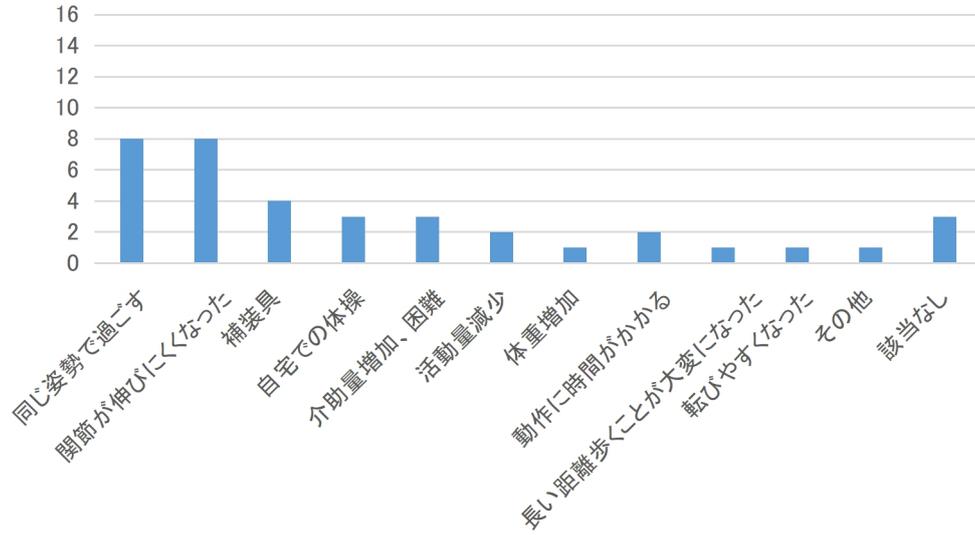
利用施設



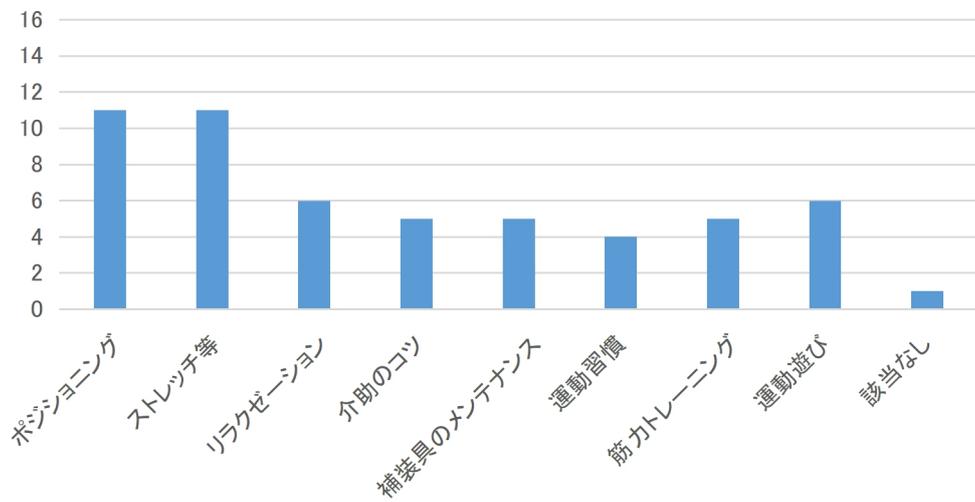
リハビリテーションの頻度の変化



困っていること



必要な情報



その他、困りごとや知りたいこと(自由記載)

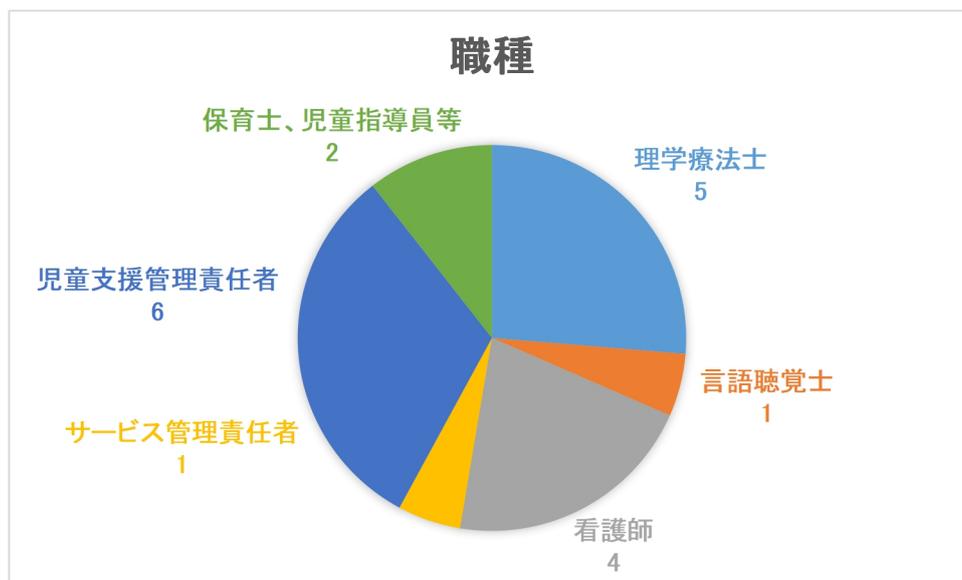
・日常生活での行為や姿勢について、リハビリのときに口頭で質問したり、確認したりをすることが多かったため、そのためにわざわざ病院へ電話して聞くことが躊躇われました。リハビリをしている人向けの情報サイト、よくある質問、こんなときはすぐに相談して等の情報発信があると助かります。個別支援が基本的なことと思いますが、公平性の高い情報サイトの需要はあると思います。

・リハビリの担当者が変わり、車椅子の微調整や身体の微調整が中々上手くいかない。変わった担当者も一生懸命やってくれているが…感染拡大の懸念もあるが…ずっと今のままというのは、困る。先が見えないので、患者も家族も具体的な状況を示して欲しいです。コロナの感染拡大で様々な我慢を強いられる状況なので、せめてリハビリくらいは、元に戻れる事を望みます。

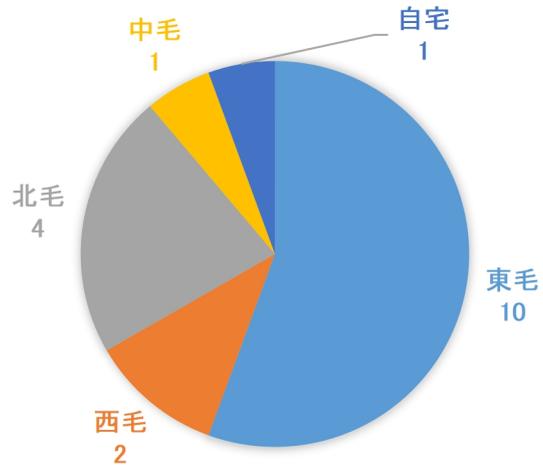
・コロナ禍になり、担当PTさんが変わっています。その事で特に困っては居ませんが、元の担当者さんに戻る事は、有りますか？

・“個体機能には問題なし 集団活動時に問題有り 気持ちの育成支援が欲しい”

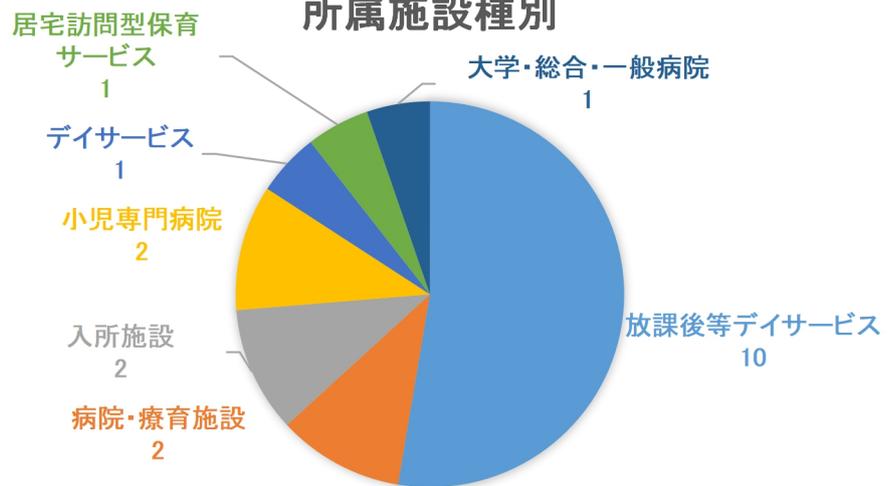
専門職(回答数:19件)



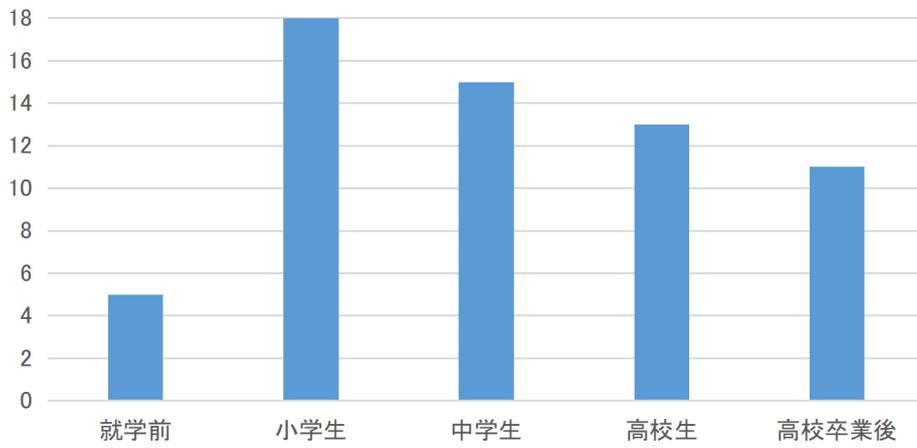
所属地域



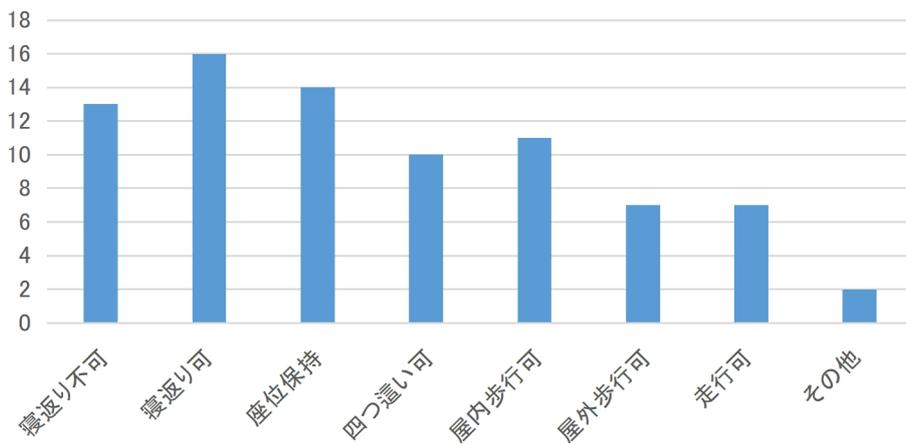
所属施設種別



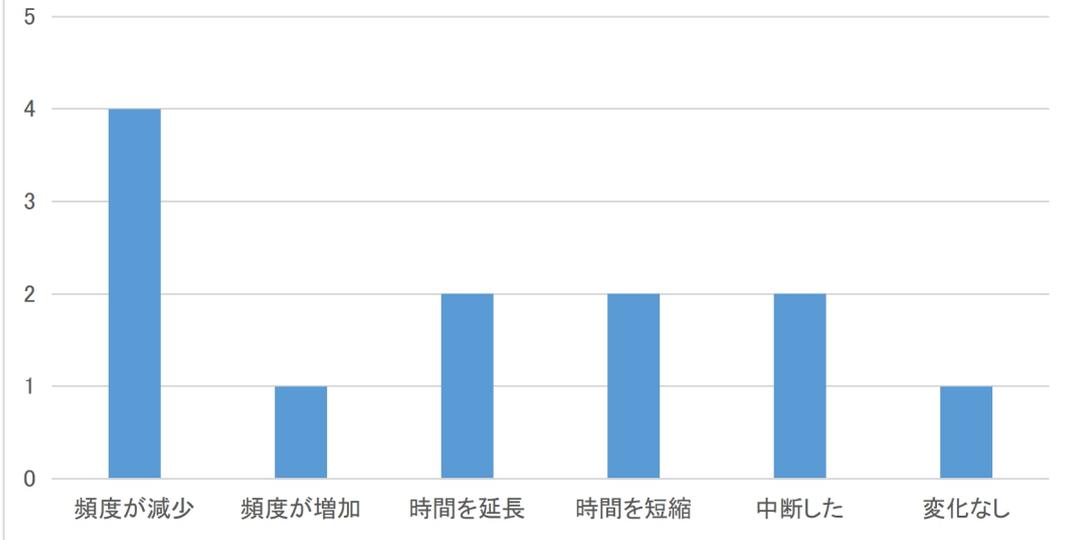
対象の年代



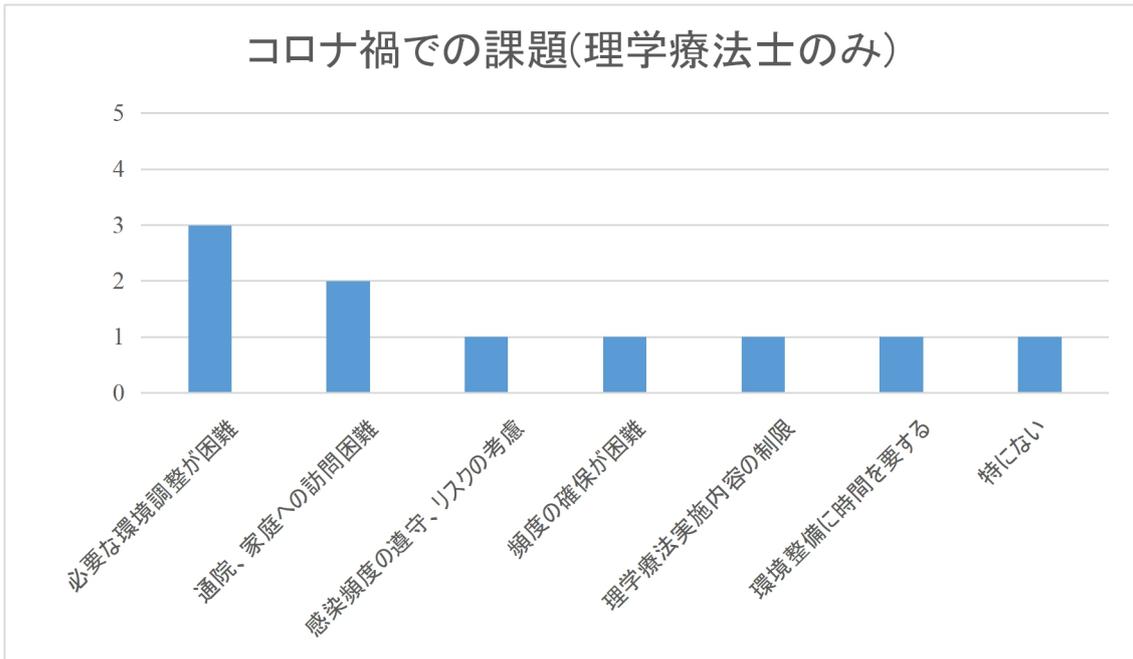
対象者の運動機能

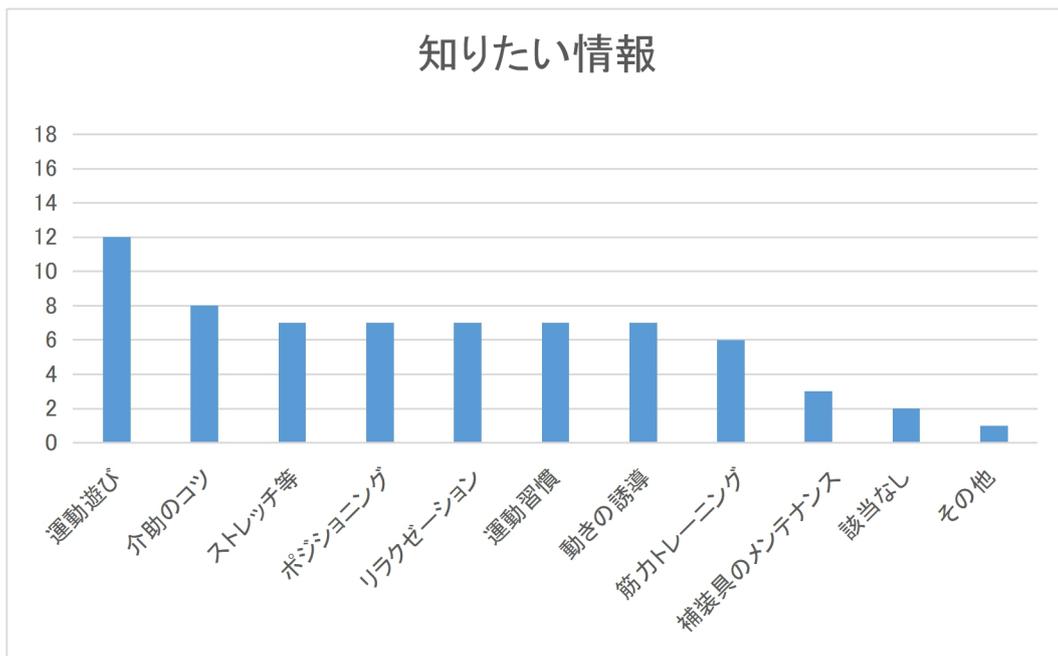
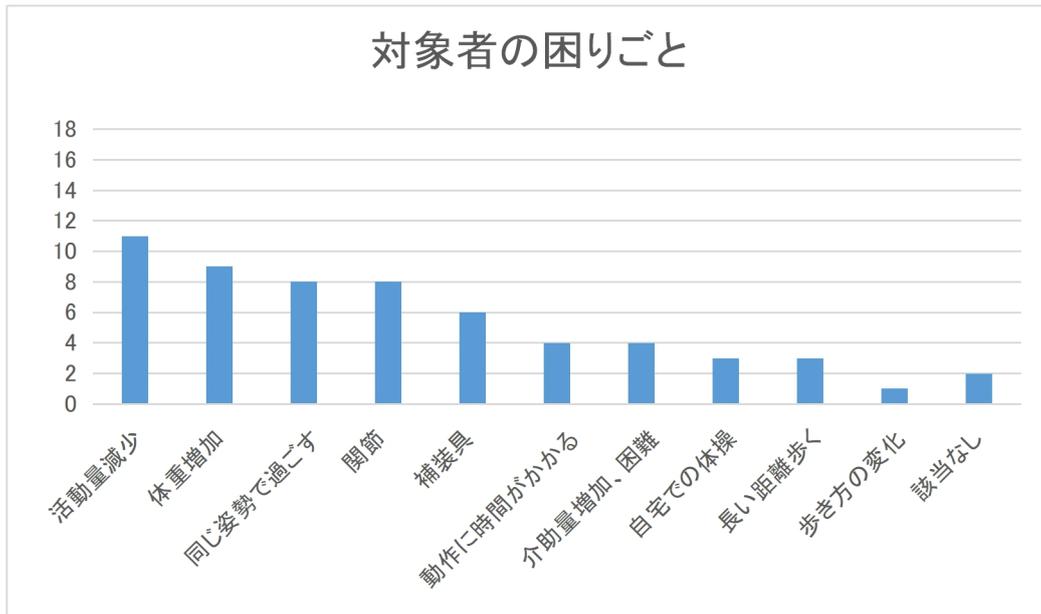


実施頻度・時間の変化(理学療法士のみ)



コロナ禍での課題(理学療法士のみ)





その他、困りごとや知りたいこと(自由記載)

・コロナにより医療センターや療育機関に通いにくくなった環境下こそ、児発・放デイなどの福祉事業所と医療機関の連携が重要。お互いの発信力や情報収集能力も大きな課題と感じました。

多くのご協力をいただきありがとうございました。

群馬県理学療法士協会小児リハビリ部では今回の調査結果をもとに必要とされている情報をInstagram、Facebookにて発信する予定でありますので、ぜひ皆様の参考にしていただければ幸いです。